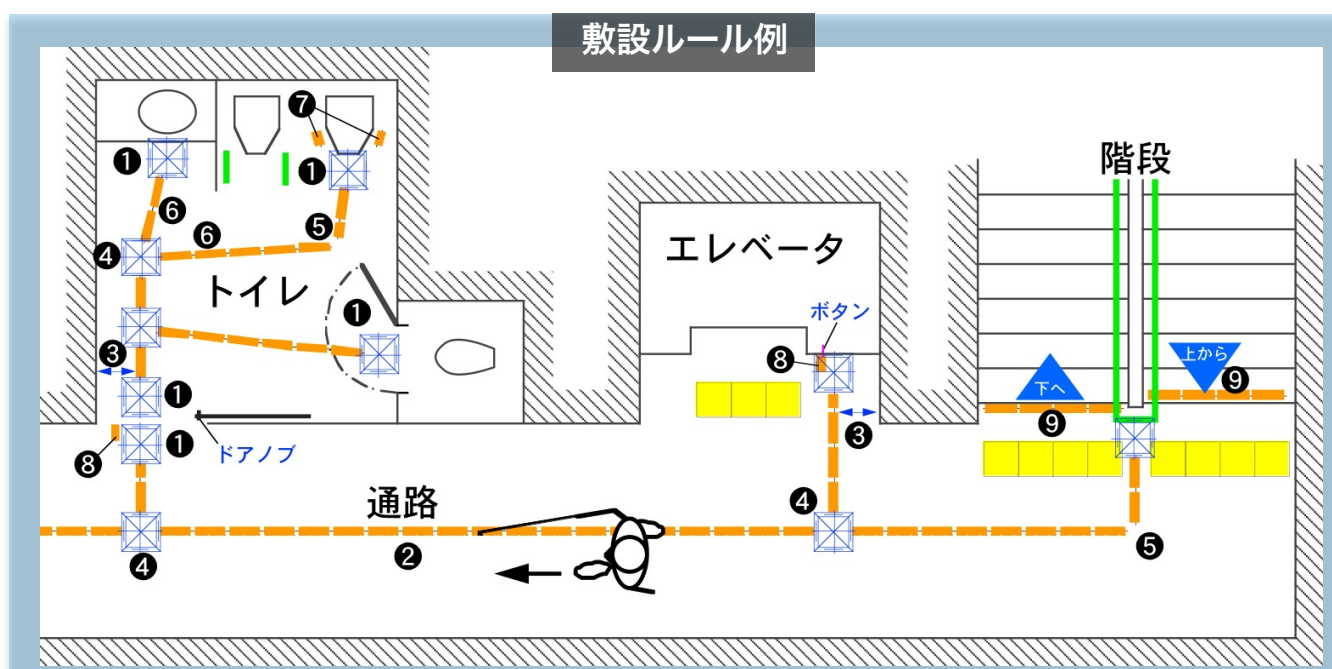


**敷設ルール**は：（図にある各番号で説明します。）

- ① 目的地の中央へ向かい、30センチ前から、
- ② 通路の中央か、
- ③ 壁から30センチ以上を通り、床の突起などを避け、30センチ毎に、すきまを開けて連続。
- ④ 分岐は、空白30センチに。
- ⑤ 曲がり角は、すきま3ミリ以上で近接させるか、板を斜めに加工（次ページで説明）。
- ⑥ 斜め侵入もあり。
- ⑦ 足位置の目印に。
- ⑧ ドアノブやエレベータボタンなどの、手掛かりの直下に目印。
- ⑨ 階段などの段差の、注意と、滑り止めに。



**他：**

- 便器や洗面は、手すりが無く、近いほうに。
- トイレ個室は、手前の1つに誘導。
- 目的地が何なのかは、別的手段、例えば、同行の人が外から説明「最初の分岐の右は個室、2番目の分岐の右は小便器、2番目の分岐をまっすぐ行くと洗面です。」。
- 停止の目印には、横に並べるのも有効。
- 壁の伝い歩きには、足元に目印。
- 開け放しの可能性があるドアには、両側のドアノブに目印。

施設の図面を元にして、ルール例を参考にしても、**現場の動線に合わせてください。**

**開発と製造**は、有限会社テイクス

244-0842 横浜市栄区飯島町1579-1

電話 045-890-6898 FAX 045-890-6899

[palmsonar.com/PL](http://palmsonar.com/PL) PL2019e2.pdf (1)

**施工**は（床の平坦さや環境に応じて、粘着つきか、素板を選択してください）：

**1 事前の準備**は、

●床に、突起物や固着物などがなく、ヘラなどを当てて確かめ、必要なら修正して、掃除しておきます。

●誘導板を並べて、長さなどが、敷設ルールに合うかを確認、必要なら、板を加工（下記）します。

**注意**：貼る前は、板の鋭い端にご注意ください。

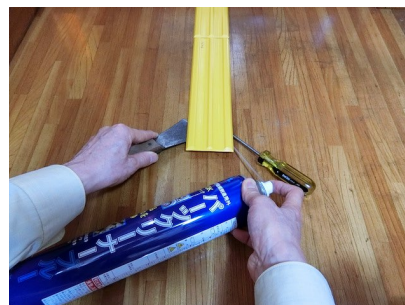
**2 粘着つき板を貼る例**は（日光に当たらず、水拭き程度はする、乾式のトイレ床を含む、平坦な床用。粘着剤は、きれいに剥がせる再剥離で、0.15ミリの薄さですが、繊細な床材には注意してください。）：

●剥離紙をはがして、レーザーなどで位置を合わせながら、置き直し、足で踏んで、密着させます。

**2.1 はがす方法**は：

●（ホームセンターなどにある）パーツクリーナ溶剤を、隙間に吹き入れて、粘着剤を軟らかくしながら、2本のヘラなどを交互に挿し入れて進み（写真）、端から、徐々に引き上げてください。

**注意**：溶剤を扱うときは、換気を良くして、火気を使わず、引火性に注意してください。使われているアクリル系の粘着剤は、熱風では軟らかくなりにくい性能ですし、パーツクリーナ溶剤で溶けることなく、周囲を汚しません。はがし剤は素材を痛めます。



**2.2 粘着つき板を暫定的に貼る例**は：

●養生テープ（きれいにはがせる片面粘着テープ）を貼った上に貼ります。剥がした後の粘着面にパーツクリーナを吹きかければ、粘着力は落ちますが、また貼れます。

**3 素板を貼る例**は（平坦でない床面や、環境に応じて、接着剤か両面テープを選びます）：

●常には水につからないが、温度が上がる、日光が当たる場所などでは、仮止めがいらぬ粘着接着（両面に塗って、粘着が出てからはり合わせ）で貼ります。（例えば、セメダイン株式会社の「スーパー-X」など）

●常に水のかかる場所（水で流して掃除する湿式のトイレ床、玄関先など）では、屋外でも使える接着剤を選んでください。（例えば、セメダイン株式会社の「PM165-R」「車止め用」など）。十分に硬化するまで、重石で押さえてください。

●両面テープで貼るなら、両脇が浮かないように、厚さ1ミリ以下の両面テープを選んでください。

●すき間を埋めるなら、シリコンシールがよくつきます。

**4 加工法**は：（通常の刃物で切れます）

●長さを縮めるには、端を傾斜45度で切断します。製品の端の傾斜45度に合わせてノコギリを当てれば、おおよその傾斜ができます。または、中央の2箇所切断して、突き合わせます。曲がり角の形状にするには（写真）、左右角度をつけたまま重ね合わせて印をつけ、切断して、突き合わせます。



**5 施工後**は：

●周囲と同じワックスをかけて、汚れ防止してください。